

ロジャース コネティカット 2012年1月5日

ロジャースは本日2011年12月末で終了した4半期目の予測を訂正したと発表しました。

ロジャース社は4半期目の純売上げを、10月31日に発表した131万～138万ドルから現在127万ドルへと下方修正しました。

また、弊社はサーマルマネージメントソリューション部門の事業をこの四半期目の間に終了することを決定し、GAAP（一般会計）勘定に沿って報告業務を行う、廃止された業務の部門として扱うことを決めました。

弊社は現在年度末の最終決算に取り掛かっており、2012年2月の3週目に発表される予定です。最新の予測に基づくGAAP（一般会計）利益とNON GAAP（特別会計）利益の対照表はこのプレスリリースの下部に掲載があります。

CEO 兼社長 Bruce D Hoechner のコメント

我々が10月に予想したとおり、4半期目を通して我々の多くの市場の需要が弱まり続けて、我々の様々なビジネス部門の売り上げや収益も大きな打撃を受けました。ヨーロッパ危機と中国での列車状況は特に我々のビジネスに直接大きな影響を与えたものです。しかしながら、ネットワークインフラ市場におけるACMに対しては、予想を上回る降下を経験しました。

というのは、顧客注文が四半期の末に向かって、予想以上に減少したからです。

この需要の減少は、販売拠点において期末の在庫管理を徹底したからと思われる。

将来の展望は限られておりますが、2012年会計年度前半には通常の注文パターンが回復すると思われま。我々はこの減少は短期的なものと考えています。

また、この四半期中に、弊社のサーマルマネージメントソリューション部門を廃止する決断をしました。この部門においては、会社がこの技術を数年前に獲得して以来、目標を達成できず、最近の技術開発により将来性を失っていました。

この決断により、更なる成長のために鍵となる資源を別の分野へ再分配できるようになると信じています。

(以上、抜粋)